

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階			評 価	評 価 コ メ ン ト
			H30	R1	R2		
島根県	邑南町	邑南町	●	●	□	A	・リノベーションキットの既存試作品7つのうち2品の改良、知育玩具(4品)、ガーデニンググッズ(3品)の新規試作に取組んでいる。 ・新規分野として取り組むことにしたガーデニンググッズでは、木レンガ、枕木、フェンス用杭について2か年目で販売実績ができた。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である出川 真也講師(大正大学)から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

出川 真也(大正大学エンrollment・マネジメント研究所 講師)

【意見聴取の概要】

- ・開発対象商品については、計画当初に設定したリノベキット、知育玩具は計画どおりに進捗している。
- ・新分野として取り組んだE'S-WOODを利用した「ガーデニング用品」は商品開発も進み、実際に販売活動まで実施されており、これまで品目ごとに進めてきた取組みについて、リノベ、木育玩具、ガーデニンググッズの活動の核となっている地元製材所の軸に各主体の連携を強化して、地元材活用プロジェクトのシナジー効果を高めることが期待される。